

図柄入りナンバープレートに係る 三重県の状況

平成27年10月29日

三重県 戦略企画部

(説明者)

東京事務所長

戦略企画総務課

企画調整班長

真伏利典

浮田知樹

サミットに向けた取組状況

2016年5月26日・27日
伊勢志摩サミット開催！

伊勢志摩は、「日本の美しい自然」
「豊かな文化、伝統」
「日本のふるさとの情景」
「大小の島々、美しい入り江」
「日本の精神性」
に触れていただける場所です。
三重県ならではの「おもてなし」で、
世界の皆様をお迎えいたします。

三重県のねらい

- サミットを**安全・安心に開催**
- 伊勢志摩・三重県の知名度向上や 国際観光地としてのレベルアップのみならず、**地域の総合力向上**につなげる
- サミット開催による効果を**県全体に波及**させる
- サミット開催を一過性のものとせず、**次世代にサミットの資産を残す** 取組を行う

全県的な推進体制

伊勢志摩サミット三重県民会議



洞爺湖サミットロゴマークの
近藤敦也さん(四日市市)
に依頼して作成 ↓



- ・官民一体となった三重県全体の受け入れ体制を確立
- ・産業・経済、観光、教育、文化、国際交流等
- ・会員105団体(9/9現在)

ポストサミットに向けて

◆伊勢志摩サミットの経済効果

百五経済
研究所

・全国では**510億円**、
うち三重県内は**130億円**

(直接効果。国・県の直接関係予算を270億円と想定)

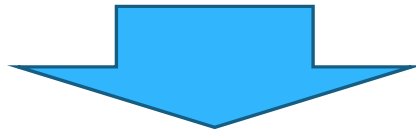
洞爺湖サミットの
10倍以上!

大和証券

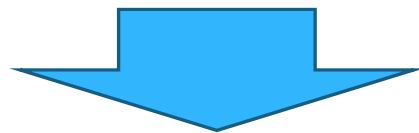
・観光消費額が5年間で累積**1750億円増**

(ポストサミット効果。洞爺湖サミットは122億円。

奈良県と同程度の訪日外国人／日本人比率を想定。県の訪日外国人観光消費額が平成25年の22億円の17倍の369億円程度、2020年には倍の700億円程度と期待)



効果を一過性に終わらせないよう、
ポストサミットの取組を重視!



図柄入りナンバープレートの積極活用



三重県の新プロモーション
「つづきは三重で」

【1-1】 地方版導入により想定される効果

図柄入りナンバープレートは、「走る広告塔」

図柄を地域のブランドとして定着

⇒ **ご当地キャラのようなPR効果**

統一デザインの装着

⇒ ユニフォームのように
地域の一体感を醸成



鈴木知事の公用車に貼られた
PRステッカー(リニア誘致)

⇒ 一体感が郷土愛につながり、
安全運転やマナーアップに寄与する効果も期待できる。

【1-2】 想定する具体的な活用取組

県内外に向けて、
広く観光地や施設、名産品のPRや知名度向上に活用

具体的な取組例

**ナンバープレート関連グッズの制作・販売を
認めてもらえると・・・**

ナンバープレートの図柄を生かした
キーホルダー、置物、小物などを作成
⇒ 道の駅や高速道路のサービスエリア、
観光地の土産物屋等で販売



伊勢神宮(内宮)



海女の実演

【2】寄付金付きの効果と具体的な活用事業

効果

寄付をすることで、地域住民としての**当事者意識、参画意識**が、より醸成される。

活用の考え方

寄付金の用途として、**図柄の元となった資源に関連する振興策**等は、寄付者の理解が得られやすい。



例) 世界遺産熊野古道の図柄



熊野古道の保全管理に活用

【3-1】 図柄の選択制

図柄の種類は複数必要

三重県の特徴の一つは「多様性」

⇒ 一つの図柄で象徴的に示すことが難しく、

様々な三重県を知ってもらうため

複数図柄が必要



三重県観光キャンペーン
ロゴマーク

複数化すると・・・

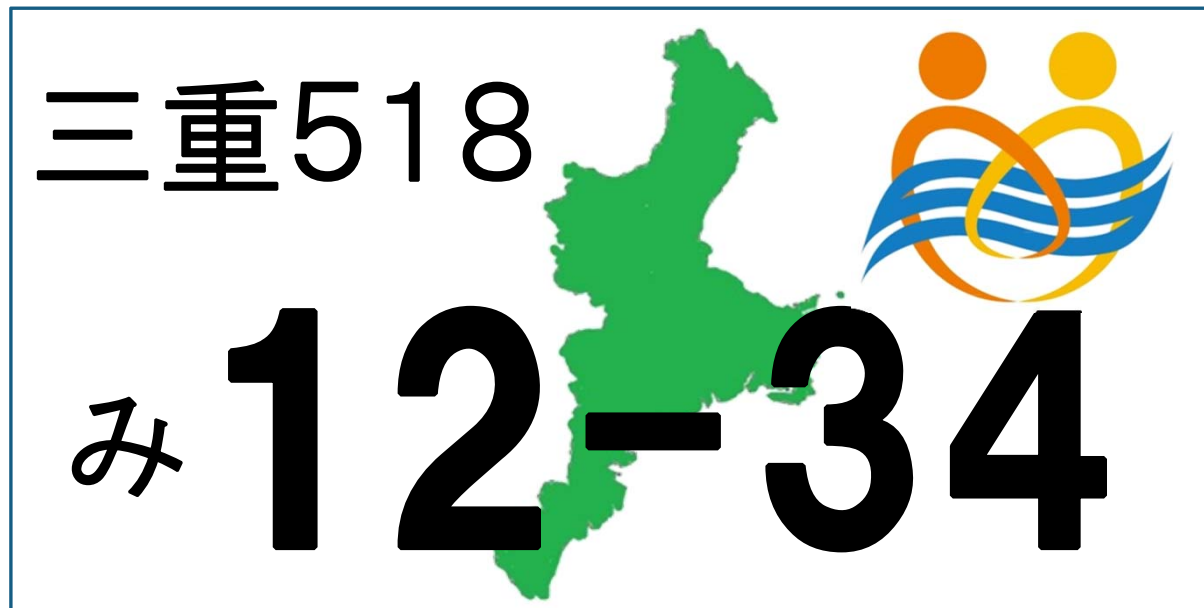
県として一体的なPR効果が弱まる可能性がある一方、地域に由来する図柄を取り入れることで、様々な特色のPRが可能

⇒ 図柄の導入に際し、市町の協力が得られやすい

【3-2】 図柄選択制の実際の運用例

実際の運用例

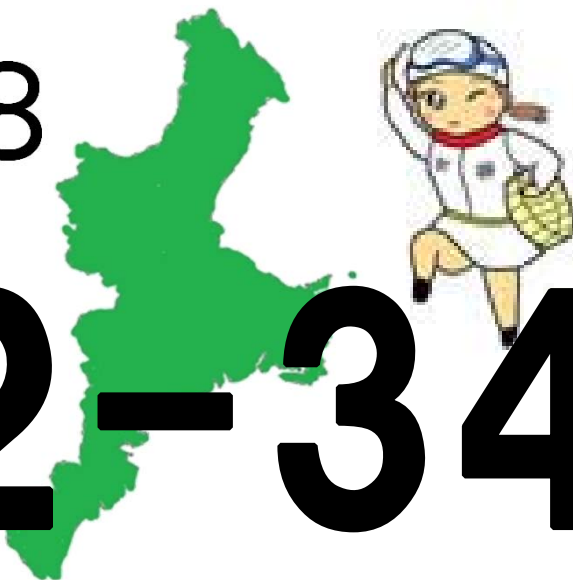
ベースとなる図柄を統一し、一部分が異なる図柄を作成できれば、県全体としての統一感を保ちながら、様々な特色を反映した図柄を作成できる。



伊勢志摩サミット
県民会議
ロゴマーク

三重518

み 12-34



海女文化
キャラクター
鳥羽志摩江さん

三重518

み 12-34



伊賀流忍者
ロゴマーク

【4】 その他 意見・要望

一定の期間ごとの図柄変更を可能に

主要イベントに合わせた図柄の変更や、プレミアム感の創出など戦略的な運用や、多様性の確保などが可能になる。

図柄の柔軟性の確保

視認性に問題が生じない範囲で柔軟に認めて欲しい。



寄付金付きの推進にはインセンティブが有効

- 観光施設や駐車料金、販売物品の割引（参考：JAFの会員割引）
- 特に図柄関連の施設・物品割引であれば利用者の理解を得やすい
- 他県ナンバーも含め、寄付金付きナンバープレートによる優待措置があればインセンティブとなり、利用が広がる。
- 仮に有料道路の割引が可能であれば、県外まで運行する機会が多い観光バス、トラックなどへの普及も見込める。

最後に

ポストサミットは三重県で全国的なイベントが目白押し

- * 第27回全国菓子大博覧会（平成29年4月～5月）
- * 全国高等学校総合体育大会（平成30年8月）
- * 第76回国民体育大会（平成33年） など多数

⇒ 地方版図柄入りナンバープレートの活用も含め
いっそう三重県を盛り上げていきます。

